

## 9/4 消防技術を学ぶ ～ JICA消防研修～

9月4日、国際協力機構(JICA)の研修員が上土幌町を訪れ、山林火災について学びました。

マレーシアから来日した8名は母国で消防職員として従事している方々で、上土幌町及び消防団の概要や山林火災が起きた場合の対処法などを学んだほか、実際に山林火災が起きた際に使用される背負い式の消火器材を使う体験をしました。



## 8/16 100歳おめでとう！

松浦久右衛門さんが、8月12日に満100歳を迎えられたお祝いとして、竹中町長から祝状と祝金を贈呈いたしました。

贈呈式は、8月16日に入所中の地域密着型特別養護老人ホーム「こまくさ苑」において行われ、入所施設からお祝いのケーキを渡されるなど、家族や他の入所されている方々と一緒に長寿のお祝いをしました。



## 8/18 納涼盆踊り大会開催

8月18日、ふれあい公園にて恒例の「2018納涼盆踊り大会」が開かれました。

子ども盆踊りには、浴衣姿の子どもたちがやぐらの周りを元気よく踊り歩いて会場を盛り上げました。また、大人盆踊りでは「パンダの香香(写真)」など、華やかで個性的な衣装に身を包んだ踊り手が多数参加し、観客を引き付けていました。

審査の結果、団体の部ではチームJAJAWOMANの「ブルゾンちえみ」が優勝しました。優勝のアナウンスが流れると、歓声が上がリ、喜びを分かち合う姿が見られました。



## 地域を変えていく新しい力 地域おこし協力隊活動報告

TITLE:シルバー学級

記:社会教育推進員 阪口 香奈代



今回は私が担当している事業から「シルバー学級」と「子どもの読書推進事業」について報告させていただきます。シルバー学級では、町内の60歳以上の皆さんと自己の充実・啓発や生活の向上のために、自発的意志に基づき、自己に適した手段・方法で生涯を通じて行う学習を毎月1度行っています。6月の例会では、家畜品評会にこども園の園児と参加しました。身体を動かしながら、園児と手をつないで、にこにこした皆さんの笑顔に、私も胸がいっぱいで暖かい気持ちをいただきました。

また、子どもの読書推進事業では、今年度、様々な読書推進の活動を行わせていただいておりますが、その中でも上土幌小学校では、地域の方や保護者の皆さんが中心となり、朝や中休み時間、読み聞かせをしていただいています。10分程の短い時間ですが、それぞれの方の思いのこもった本の読み聞かせで、参加した児童がきらきらした顔になっていくのが印象的です。生涯学習課の事業以外にも、上土幌町では、地域の皆さんが無理なく、交流しながらいきいきできる活動がありますので、参加してみたい気持ちが芽生えたら、皆さんぜひ一度、お問い合わせくださると幸いです。



▲シルバー学級6月例会  
町内遠足&世代間交流



▲上土幌小学校での地域のみなさん  
による読み聞かせ

## 8・9月の まちのわだい

9月13日、バルーンフェスティバル開催の際の会場周辺の草刈りの協力をしていただいた株式会社川村組様、川村・荒井災害復旧工事特例共同企業体様へ竹中町長より感謝状が手渡されました。



## 役場の新人紹介(地域おこし協力隊員)

- ◆名 前：山田 太平(24歳)  
やまだ たいへい
- ◆職 種：ひがし大雪自然館学芸推進員  
商工観光課(ひがし大雪自然館)
- ◆出身地：沖縄県

これまでに学んだ生態学の知識を活かし、上土幌町の素晴らしさを発信していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。





上士幌高校です!

文責: 教頭

TITLE: 生まれ変わった熱気球が上士幌の空を舞う

7月の下旬、NPO法人上士幌コンシェルジュ(田西長徳代表)様と上士幌高校振興会(菅原慎一会長)のご厚意により上士幌高校熱気球部の球皮が10年ぶりに更新されました。

熱気球部は、8月10日(金)~12日(日)に町内で開催された「北海道バルーンフェスティバル」に生まれ変わった新気球でエントリーし、大会当日はご覧のように、多くの人が見守る中を上士幌の空高く悠然と大飛行しました。

天候に恵まれず、競技は1日目の午後と2日目の午後のみになってしまいましたが、熱気球部員は大会初日に山村開発センターで行われたウェルカムパーティーでも大活躍。ビンゴ大会の司会進行を任せられ、軽妙なトークでその場を大いに盛り上げてくれたのです。そして、パーティー会場の後片付けも最後までしっかりと手伝ってくれました。



川柳

5 くらやみが日々のありがたさ気付かせ  
歳でも服を買ったらファッションショ  
ー

石 四  
戸 児  
の  
光 父

短歌

夕空のいまだ明るき頃ほひをはやも夕餉のととのひしと云う  
坂をゆく気力も今は失せるたり蜻蛉むらがるみち選びゆく  
年かさねまとう服たち華やいですこやかなるかと服に問わるる  
真夜中の地震に驚き目を覚まし電灯つかずミニラジオ聴く  
姉作る弁当を持ちて金曜日いつものようにセンターへ向かう  
芋ほりのアルバイトに行きしこと思ひだしおり友の畑に  
地獄谷と名付けられたる湯の谷を巡れば多し外国の人

石 鈴 米 米 尾 本  
川 木 森 森 野 間  
裕 博 真 よ し 乗  
子 豊 樹 弓 乃 風

平成30年 8 月末現在の人口

男 性	2,447人(0人)
女 性	2,573人(0人)
人 口	5,020人(0人)
世帯数	2,546世帯(0世帯)

平成30年度 ふるさと納税寄付金

8 4,472 件  
月分 63,831,666 円

累計 27,085 件  
402,031,541 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。  
※9月18日現在

寄 付 (8/16~9/12)

☞ 8月21日、帯広信用金庫様、十勝信用組合様が、町の振興のため2万円を寄付されました。



☞ 9月6日に発生した北海道胆振東部地震では、町内の電力復旧まで約2日かかりました。☞ 我が家は、オール電化のため煮炊きにとっても困りました。災害が起こったときの想定はやはり重要で、普段からの備えが試されると感じました。……

M

☞ 今回、道内全域停電というかつてない事態となりました。普段からの備えや地域の助け合いはもちろんのこと、噂やデマによる混乱を防ぐためにも「情報収集」は非常に大切なものです。広報担当ではホームページやSNSなどインターネットでの情報発信を行いましたが、今後とも災害時には可能な限り早く・正確な情報提供ができるよう努めて参ります。……T

広報 かがみしほろ 11月号は10月25日(木) 発行 予定

上士幌高校新聞局通信



自転車事故はこわい

文責 早坂 柚香

9月5日(水)に、全校生徒が体育館に集まり、交通安全講話を聞きま

した。講師は日本損害保険協会の荒川昌一さんです。お話の中ではまず、年齢別に見た自転車乗用中の交通事故死傷者数でいちばん多いのは65歳以上で、次が15~19歳なので、自分と同年代の人が多く死傷していることに驚きました。また、自転車事故に備える保険というものがあ、個人賠償責任保険では事故相手の、傷害保険は自分の生命・体を補償してくれることを知りました。

最後に、自転車乗用中に携帯電話を見たり、イヤホンをつけながら乗ることの危険性と、安全に自転車に乗ることの大切さを改めて感じ、これからも安全運転を心掛けたいと感じました。



△講師の荒川さん



△耳を傾ける1年生